

41位 これは大変！ 静岡県の低い献血率

全国平均の献血率は5.6%なのに静岡県の献血率は4.9%で都道府県別順位は41位と低迷しています。

※献血可能人口比
(平成27年度血液事業年度報)

年代別順位 10代26位 20代42位 30代39位 40代36位 50代37位 60代37位

これは大変!

40.8人

少ない献血者数

移動採血車1稼働当りの献血者人数が全国平均44.0人なのに静岡県は40.8人です。

石川県55.7人 福井県51.9人
東海北陸ブロック血液センター需給計画委員会資料

これは大変!

7,000人
以上減

減少する献血者

5年前に比べると静岡県の1年間当りの献血者数^(ア)は7,000人以上も減少しています。

※(ア)：ウラ面表参照。

これは大変!

血液
輸入県

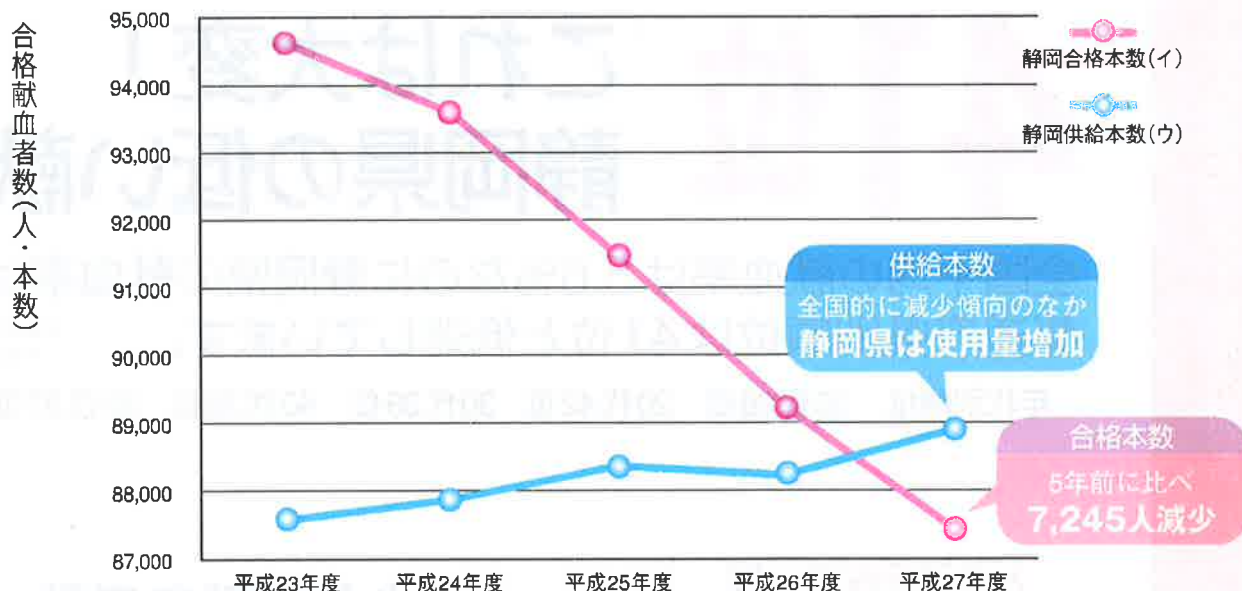
他県に頼る不足分

静岡県の赤血球使用量は増えています。不足分は東海北陸7県から頂いているのが現状です。

赤血球製剤1.573人相当分を他県から。

※ウラ面グラフ参照：(イ)ー(ウ)

静岡県内の献血と供給（赤血球）



赤血球(全血)	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
献血者数(ア)	97,284	96,408	94,109	91,754	89,745
採血後の検査落	2.7%	2.9%	2.8%	2.7%	2.6%
合格本数(イ)	94,657	93,612	91,474	89,277	87,412
供給本数(ウ)	87,657	87,947	88,374	88,306	88,985
(イ)÷(ウ)	108.0%	106.4%	103.5%	101.1%	98.2%

静岡県で血液製剤を必要とする病院約190

供給 episode

ある日の夕方、〇〇病院から血液製剤の供給依頼がありました。最初は赤血球製剤4単位でしたが、すぐさま10単位が追加され、その後も追加の連続で3日後の未明まで続きました。供給回数は述べ14回、赤血球製剤14単位(400mL献血にして57人分) 血漿製剤: 19,680mL(血漿成分献血者41人分) 血小板製剤 220単位(血小板成分献血者22人分) 合わせて120人分でした。

このとき、血液センターの冷蔵庫が空にならなかったのは東海北陸7県の皆さんの協力があったからです。このように血液の供給を日々必要とする病院は静岡県下に約190病院あり、確実な供給が求められています。そのためには皆様の献血へのご協力がなにより大切です。



静岡県内の医療機関からの赤血球供給依頼は約98%が400mL献血由来です。また実際に供給された赤血球の**94%が400mL献血由来**でした。400mL献血へのご理解とご協力をお願いいたします。